

「保険業法の改正案について」

日本保険仲立人協会

赤井啓人金融庁調査室・保険企画室長が講演



赤井氏

日本保険仲立人協会は3月18日、東京・千代田区の知水会館で講演会を開き、金融庁企画市場局調査室・保険企画室長の赤井啓人氏が「保険業法の改正案について」をテーマに講演した。講演では、先般公表された保険ワーキング・グループの報告書の記載内容のなかから、大規模集合代理店を含む保険仲立人、企業内代理店のそれぞれの規制の内容や規制見直しの背景などについて概説した。ここでは保険仲立人に関する赤井氏の講演内容の要旨を紹介する。

規制見直しの背景など概説 保険仲立人のプレゼンスに期待

保険仲立人に関する規制の見直しについてだが、ご承知のとおり仲立人は1995年に保険募集チャネル間の競争を促進する目的で創設されたものだ。ただ、四半世紀たった今でも登録事業者は50社超、保険料の取扱金額も全体の1割を占め、普及しているとは言えない状況にある。他方で仲立人に対する期待の音が大きいのも事実であり、私たちが保険ワーキング・グループでの議論のために事業会社に対して行ったヒアリングのなかでも仲立人に対する期待の音が大きかった。これは代理店において様々な問題が生じたということをもふまえ、仲立人制度の導入当初からの目的である保険募集チャネルの多様化、あるいは販売面での競争を改めて促進するという観点から、仲立人の活用促進に向けた施策を検討してはどうかというように考え、今回のWGで議論していったこととしたものだ。



「次世代代理店経営塾」 今期メンバーによる スクーリングを開催

スクーリングの模様
有限会社 営塾の今期メンバーによるスクーリングを開催した。スクーリングの模様は、3月14日、3月15日の2日間、東京・千代田区の知水会館で実施された。参加者は、各都府県から選出された次世代代理店経営塾メンバーの若手社員ら約30名。当日は、赤井氏による基調講演のほか、各都府県からの報告や、グループワークなどを実施した。赤井氏は、スクーリングの重要性を強調し、各都府県からの報告を聞き、今後のスクーリングのあり方について話し合った。

赤井氏は、スクーリングの重要性を強調し、各都府県からの報告を聞き、今後のスクーリングのあり方について話し合った。スクーリングは、次世代代理店経営塾のメンバーが、お互いの事業状況を報告し、課題を共有し、解決策を模索する場として実施されている。赤井氏は、スクーリングを通じて、仲立人のプレゼンスを高め、保険市場の活性化を図ることを期待している。

出ていることも想定されるため、これらの保険をどう獲得することになるのか、ということでは、仲立人にとっては非常に大きなチャンスになるだろうと考えている。また、企業内代理店から仲立人になることも増えるのか、ということでは、仲立人にとっては非常に大きなチャンスになるだろうと考えている。実際に私たちが行った企業内代理店へのヒアリングにおいても、そうした意見が数多くあがっていた。今後の規制の見直しに際しては、こうした意見も踏まえ、仲立人の活用促進を図る必要がある。赤井氏は、スクーリングを通じて、仲立人のプレゼンスを高め、保険市場の活性化を図ることを期待している。

シンニホ保険Web
www.shinnihon-ins.co.jp
購読者専用バックナンバー
閲覧パスワード
Guzel

新日本保険新聞

(損保版)
第1~4月曜日発行
新日本保険新聞社
大阪府西成区本町1丁目5-15
電話 (06) 6225-0550 (代)

78th Anniversary
創業昭和22年
保険・共済業界と
共に歩んで78年